

## シンポジウム開催報告

神戸大学・東北大学ジョイント・シンポジウム：東北～関西の災害対応教訓の共有・交流  
「巨大地震に備えた地域間連携と受援体制を考える」

神戸大学・社会科学系教育研究府／国際協力研究科では、2014年8月4日、大阪市にて東北大学・災害科学国際研究所と共催でシンポジウム「東北～関西での災害対応教訓の共有・交流：巨大地震に備えた地域間連携と受援体制を考える」を開催いたしました。

前半では、東日本大震災の教訓について東北大学・丸谷浩明教授から、東日本大震災の教訓を反映した先進的な受援計画事例について岩手県・神戸市から、県・市町村が一体となった包括的な相互応援体制づくりの事例を鳥取県から、復興と他地域支援に向けた産官学民連携のプラットフォームを目指す東北復興連合会議について政策投資銀行東北支店から、ご報告いただきました。

後半では、会場からの質問を受けながら、意見交換を行いました。会場からは、文化財修復の受援体制、復興期の受援体制、支援とニーズのミスマッチ、震災遺構の保存、受援側から必要とされる人材の能力、等についての質問、意見が出され、パネリストと積極的な意見交換が実施されました。

当日は、近畿、四国、中国の自治体関係者、メディア関係者、大学等の研究者など60名が参加しました。詳細については、[別紙の記録](#)をご覧ください。